



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』 合い言葉「よく学び よく遊べ」

令和6年4月11日
NO. 2
校長 白水 聰

ぴかぴかの1年生

春の暖かい風が吹いています。4月10日（水）の入学式は天候にも恵まれ、ぴかぴかのランセルを背負って、可愛らしい新1年生が入学しました。今年の入学児童は77名です。

6年生は、この日のために前日から式場設営を行ったり、朝から案内役を行ったりと、たのしい活躍ぶりでした。着実に本校のリーダーとしての自覚が高まっており、嬉しい限りです。

1年生は式辞の途中も、うなずいたり返事をしたりしながら、よく話を聞いていました。魔法のリボンの色も、しっかり変えてくれました。（笑）

また、保護者の皆様には、「学校では『よく学び、よく遊べ』と励ましますので、ご家庭では『よく食べ、よく寝せる』ということを大切にしてほしい」とお伝えしました。すべてのご家庭で心がけていただければ幸いです。

歓迎の言葉は6年の○○○さんが立派に述べてくれました。

4月26日には歓迎遠足も予定されています。明日からも元気に登校できるよう見守っていきたいと思います。



あいさつ運動



朝から校門に立ってみると6年生が次から次にやってきて、あいさつ運動を行ってくれています。まさに、学校をよりよくするためのボランティア活動です。

「あいさつは心と心のキャッチボール」といわれるよう、互いのコミュニケーションを図る上で、とても大切ですが、どこの学校でも「する子としない子の差がある。」という話題になる教育課題だと思います。

ほかにも、「はきものそろえ」「ろうかを走らない」「返事や言葉遣い」といった、昔から軽けられてきた不易の教育は、今も変わらず大切にしたいものです。

外国語やGIGAスクール構想といった現代の教育課題にも対応しながら、日本人らしさも育んでいくという盛りだくさんの学校現場ですが、ぜひ子供たちには求めていきたいと考えます。

歴史ある矢上小の「あいさつ通り」が、きっとそれを支えてくれるはずです。



私の大切な言葉

上の雪 寒かるな 冷たい月がさして
下の雪 重かるな 何百ものせて
中の雪 さみしかかるな 空も地面も見えないで

～「積もった雪」金子みすゞ～